

外国語学部 中国学科 2年 (参加時)

参加報告書

2月10日から2月22日まで中国の上海へ語学研修に行ってきました。

平日は午前中は授業を受け、午後は博物館や春節のイベントなどに行き中国文化の理解を深めました。休日は中国の観光地に赴きました。

私は今回の上海渡航が初めての海外だったので不安でいっぱいでした。

上海に到着した2月10日、上海空港にて同済大学の方と初めてお会いしました。いらっしやったのはボランティアの方2名と、同済大学の先生方3名ほどでした。同済大学国際交流センターのマスコットであるダオダオというパンダのキャラクターと共に私たち学生を出迎えてくださいました。上海到着を喜んでくださり、とても嬉しかったと共に、安心感を得たのを覚えています。上海空港を出ると同済大学のバスに乗り、中華料理屋へ行きました。向かう途中に見えた景色は高層ビルと建設中のビルでした。やはりとても都会で、人口が多い



街なのだと感じました。余りに建設中のビルが多いので、まだ人口を増やすのかと疑問にも思いました。

中華料理屋では中国の伝統的である円卓の上にある大皿から自分の食べたい料理、量を自分の取り皿で食べる方法で夜ご飯を頂きました。驚いたのは、料理を取る際に自分の箸で料理をとっても良いということです。私は各々が自分の使った箸で料理を取ることに少し嫌悪感を抱きましたが、文化の違いを知ることが出来ました。

夕食の後は12日間泊まった同済大学迎賓館に行きました。ホテルと変わらない綺麗な外装と内装でとても過ごしやすかったです。

2/11(火)は開会式があり、立命館大学の方々と一緒に受けました。

同済大学の先生方や立命館大学の先生からの激励を受け、改めて気合いを入れて勉強するぞという気持ちになれました。同済大学からお願いがあり、それは毎日中国語で日記を書くことでした。毎日書いていく中で新しい単語を知る機会が増え、構文の見直しも出来たので帰国しても続けよう決めました。中国語のクラスは初級と中級に別れており、私(北九州市立大学中国学科2年)たちは中級クラスでした。授業があったのは平日の午前中でした。授業は三コマあり、最初の一コマで前日の振り返りをし、二コマ目と三コマ目で中国語の授業を

受けました。授業中に先生はとても優しく、英語と簡単な中国語で説明してくださりました。中級クラスの授業は復習がメインでした。ボランティアの方とのディスカッションもあり、自ら中国語を発することが出来るいい機会でした。授業中はとても穏やかな雰囲気の間違った文法でも訂正してくれる安心感に包まれ発言がしやすかったです。

授業の前に朝ごはんを出店で食べる時がありました。朝7時から営業しており、肉まんのような食べ物が多いです。食べ物が本当に安くて200円ほどでおなかいっぱい食べられるのは凄いなと思いました。

2/12(水)の午後は春節のイベントに行きました。同済大学から歩いて20分ほどすると会場に着きました。多くの警察官がおり、イベントの賑やかさを表していました。中国の伝統的な屋台が沢山ありました。全てに通して思ったのは、技術がとても繊細なことです。餡を絵のように完成させるお店や香包という香りが付いた綺麗な色のキーホルダーがありました。パレードは人が多くあまり見えませんでした。華やかで覇気を感じるものでした。



2/13(木)は授業の後に水墨画を体験しました。水墨画の先生が来て下さり、パンダを描きました。思っているより大胆に描かれていたのに驚きました。自分が描きあげたパンダはぶっきらぼうではありましたが、何か愛おしく感じました。大切に保管したいです。

2/14(金)は大学の近くの中華料理に昼食を食べに行きました。そこは日本のクレジットカードが使えないお店で、ボランティアの方に立替えて頂き、やっと食べる事が出来ました。とても苦労しました。中華料理屋で感じたのは残してもいい文化がまだ根強く残っていることです。半分程度の人が料理を残して帰っていました。「もったいない」という言葉は中国には存在しないのかと疑問に思いました。午後は東方明珠に行きました。行く時のバス内でボ



ランティアの方に日本の指遊びを教えました。中国語で教えるのは難しかったですが、通じた時に嬉しく、国境を超えて遊ぶことができ嬉しかったです。東方明珠はとても高い建物で、上海を見下ろすことができました。夜にはクルージングを体験しました。上海のビルはとも高くキラキラと輝いているので見応えがありました。

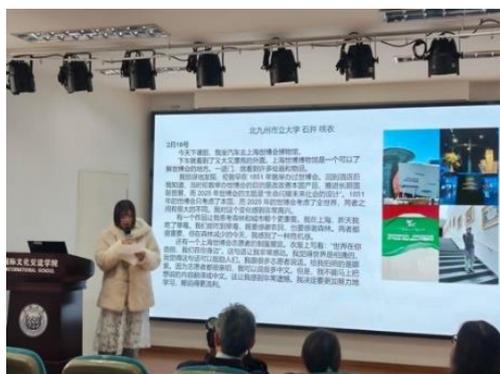


2/15(土)2/16(日)は授業が休みでした。15日には南京路に行きました。レンタル自転車の普及率がとても高く自転車を日本よりもよく見た印象です。地下鉄に乗る時には簡単な荷物検査があります。多くの出店がありました。注文する時は中国人の店員の声の大きさとスピードに圧倒されました。しかし、注文して出てきた馒头はとても美味しかったです。夜のライトアップがとても綺麗でした。

2/18(火)は昼に大学の学食を食べました。たったの220円で皿いっぱいの炒飯を食べることが出来て感動しました。上海世博博物館に行きました。大阪でも開催予定の万博についての博物館です。実際に建設する際に使われたグローブや綱も置いてあり、未来的な建設でもその人たちが頑張ったから出来たものなのだと実感しました。都市と森はどちらが大切なのか考えさせる作品もあり、ボランティアの方と比較構文を使い話し合いました。

2/19(水)は上海世界技能博物館に行きました。技術の歴史を辿ることが出来る博物館です。自転車を漕ぐと電気がついたり、仕組みを分かりやすく、遊びながら知ることが出来ました。

2/20(木)は閉会式がありました。日記の発表もありました。わたしは上海世博博物館について書いた日記を発表しました。ボランティアの方々に発音を治してもらい、勇気が出ました。学生の日記を聞くのは楽しかったです。



この留学を通して、間違いなく語学力が上がったと思います。なにより感じたのは、間違っても喋ることが大切ということです。帰国する際にボランティアの方が「単語で覚えるよりも文章を覚える方がよい」と教えてくださいました。ボランティアの方々のアドバイスをもち帰り、HSKの習得へ活かしたいです。